

平成二十七年 度

国語

∧問題用紙∨

受験番号				
フリガナ				
氏 名				

***** 注意事項 *****

- 一. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
- 二. この問題用紙は表紙を含め四枚から成り立っています。
また、解答用紙は別紙で一枚あります。
印刷が不鮮明、または枚数が足りない場合は手を挙げて、試験監督に知らせてください。
- 三. 受験番号と氏名を解答用紙とこの表紙の指定欄に記入しなさい。
- 四. 解答は指定の解答用紙に記入しなさい。

一次の文章は、重松清の小説『小学五年生』の一節である。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

生まれて初めて、一人でバスに乗った。

家族でデパートに買い物に行くときに、いつも使う路線だ。ものごころついた頃から、月に一度は乗っていた。五年生になってからは親と一緒にいるところを友だちに見られるのが嫌だったので、バス停でも車内でも、^①両親と離れて——一人で乗っていた。

だから、だいじょうぶだ、と思っていた。だいじょうぶじゃないと困るんだ、とも自分に言い聞かせていた。もう五年生の二学期なんだから。同級生の中には、バスどころか電車にも一人で乗って進学塾に通っているヤツもたくさんいるんだから。

でも、いままでの「一人」と今日の「一人」は違っていた。『本町一丁目』のバス停に立っているときから緊張で胸がどきどきして、おしっこをがまんしすぎたあのように、下腹が落ち着かない。

^②バスが来た。後ろのドアから乗り込んで、前のドアから降りる。手順は^③覚えこんでいるはずだったのに、整理券を取り忘れそうになった。

『本町一丁目』の整理券番号は7。運転席の後ろにある運賃表で確かめると、整理券番号19の『大学病院前』までは、子ども料金で百二十円だった。家族で買い物に行くときは、いつも17番の『銀天街入り口』で降りる。子ども料金は百円。四年生までは、バスに乗り込むとすぐに整理券を母に渡し、母が少年のぶんもまとめて運賃箱に小銭を入れていた。五年生になってからは、バスに乗る前に百円玉を一つ渡されていた。^④「落としても、お母さん、知らないからね」といたずらっぽく笑う母の顔を思い出した。二人掛けのシートの肩の部分にある取っ手を、強く握り直した。

バスはスピードを上げたかと思うと、すぐにバス停に停まる。そのたびに少年は停留所の名前を確かめて、『大学病院前』まであといくつ、と頭の中で数字を書き換える。降車ボタンを押しそびれてはいけない。整理券をなくしてはいけない。運賃箱の前でもたもたしてはいけない。財布から取り出すときにお金を落としてはいけない。いまのうちにしておこうか。百円玉一つに、^⑤十円玉二つ——コインが一つから三つに増えただけで、握り込んだ手のひらに力をグッと込めな

いとお金が落ちそうな気がする。

バスは中洲のある川に架かった橋を渡って、市街地に入る。西にかたむいた太陽が街ぜんたいを薄いオレンジ色に染めている。

次は大学病院前、大学病院前、と車内アナウンスが聞こえた。お降りの方はお手近のボタンを押して……とつづく前に、ボタンを押した。急いで通路を前に進み、バスがまだ走っているうちに運賃箱のそばまで来た。

「停まっから歩かないと」

運転手に強い声で言われた。「転んだらケガするし、他のひとにも迷惑だろ」——まだ若い運転手は、制帽を目深にかぶって前を^⑥見つめたまま、少年のほうには目も向けなかった。

問一 ^① ^④には、次の言葉が当てはまります。最も適切なものをそれぞれ次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア すつかり イほとんど ウわざと エじつと オやつと

問二 線部①「いままでの『一人』と今日の『一人』は違っていた」とありますが、それはどのようなことですか。その説明として最も適切なものを、次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア だいじょうぶだと言いつつも聞かせても落ち着かず、一人でいるたよりなさを強く感じていること。

イ 五年生の二学期になり、一人で何でもやらなければならないという自覚を持っていること。

ウ 一人で進学塾に電車を通っている同級生もたくさんいて、負けまいとする気持ちが強いこと。

エ これまで親と一緒にいながら、離れているだけだったが、今日はまったくの一人であること。

オ バスに乗り降りする手順が複雑で、整理券を取り忘れそうになるぐらい緊張していること。

問三 線部②「二人掛けのシートの肩の部分にある取っ手を、強く握り直した」とありますが、そこから「少年」のどのような気持ちが読み取れますか。最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア お金を落とさないよう緊張する気持ち。
イ 母の顔を思いだし、笑われたくない気持ち。
ウ 一人で乗り切らなければならない気持ち。
エ バスのスピードにおくれまいとする気持ち。
オ 一人は不安で、何かにたよりたい気持ち。

問四 線部③「握り込んだ手のひらに力をグッと込めないとお金が落ちそうな気がする」とありますが、それはなぜですか。最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア してはいけなことが多過ぎ、心理的な不安が大きくなっているから。
イ それまで、母から渡されていたコインは、百円玉一つだけだったから。
ウ 頭の中でバスの乗り降りの手順を考え過ぎ、体に力が入ってしまうから。
エ バスがスピードを上げたかと思うとすぐにバス停で停まってしまうから。
オ お金を落とさないように早めに出してしまい、握力がなくなってきたから。

問五 線部④「少年のほうには目も向けなかった」とありますが、そこから「運転手」のどのような様子がわかりますか。最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア 運転手はまだ若く、はずかしさから、制帽を目深にかぶり、前をじっと見つめている様子。
イ バスがまだ走っているうちに、急いで通路を進んできた少年に対して腹を立てている様子。
ウ 強い声で少年を注意してしまったことをくやみ、少年の方を見ることができずにいる様子。
エ 生まれて初めて一人でバスに乗った少年に対して、大人として注意し、さとしてる様子。
オ バスがまだ走っているうちに少年が前に来たので、注意しながら運転に集中している様子。

問六 本文全体を通じて、時間の経過がわかる一文を探し、最初と最後の三字を答えなさい。ただし、句読点はいれないこと。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

人は生き延びるためにのみ生きているわけではない。人生に何らかの楽しみを見い出して生きているのだ。たとえば家庭菜園で野菜を作っている人がいる。害虫の蝶が飛んできて卵を産み付

け、いも虫がいっぱい発生する。ある人は、見つけ次第いも虫を潰し、ある人は農薬を撒いても虫を殺し、ある人はいも虫に野菜を食べ放題にさせておくらう。いも虫を殺しても殺さなくとも人間の生存には何の影響もない。みんな趣味でやっているのだ。いも虫を殺さない人はほめられて、いも虫を殺す人は非難されるべきだろうか。決してそんなことはないと思ふ。

いも虫を殺すのも生かすのも、家庭菜園を作っている個々人の勝手なのである。虫食いの痕のないきれいな野菜を食べたい人もいるし、虫は嫌いだけれども自分で殺すのはいやな人もいるだろうし、虫食いの野菜でも平気な人もいるし、なんであれ殺生はいやという人もいる。①どれを選

んでも別に大した問題ではない。いも虫の個体に②などあろうはずがない。農家の人は、害虫を殺さなければ暮らしていけないから、いも虫を殺してもいいが、家庭菜園をやっている人は趣味でやっているのだから殺してはいけない、なんてバカな話はないのだ。

ウシやブタは殺して食ってもよいが、クジラは食ってはいけないなんてアホな事を言う人もいる。その理由は、ウシやブタは人間が食べるために飼育している家畜だから、殺して食べても自然保護に反しないが、クジラは野生動物だから、殺すのは自然保護に反するからだ、という。③

②しかし、これはおかしい理屈である。人間はウシを飼うために牧場を作る。牧場は自然の生態系を改変して作ったに決まっている。そこで以前生きていたたくさんの野生生物たちは永久に生息地を奪われたに違いない。直接、手を下さなかったにしてもたくさんの野生動物たちは間接的に大殺りくされたのである。

これに対して、クジラを食う行為は、一見クジラを直接殺すので残酷なように見える。しかし、クジラの生息環境を破壊しているわけではない。③いっぺんにある種のクジラの個体群の半分も捕つてしまうのは確かに問題だと思うが、回復可能な範囲内で捕って食べるのは別に何の問題もない。むしろ、自然に対する侵襲④という観点からは牧場を作る方が罪が重い。私は別に牧場を作るのが悪いと言っているわけではなく、ウシを食うよりクジラを食う方が悪いという意見は根拠がないと言いたいだけだ。

自然物に生存権があるという考えは端的に間違っている。我々は回復可能な範囲内で自由に自然物を利用してよいのである。 (『環境問題のウソ』池田清彦)

注※ 大殺りく：残酷に多くを殺すこと。

※ 侵襲：無理に入り込んで攻撃すること。

問一 線部①「どれを選んでも別に大した問題ではない」とありますが、どういうことですか。最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア どんな方法でも虫を殺しても大した問題ではないということ。
イ どの種類の虫を殺してもそれは一人一人の自由な判断であるということ。
ウ 虫食いの野菜を食べても平気なのでいやがる必要はないということ。
エ いも虫を殺すか殺さないかは取るに足りない問題であるということ。
オ いずれにせよ虫を殺すのは悪いことで議論するまでもないということ

問二 ①に入る言葉を本文中から探して三字で抜き出しなさい。

問三 線部②「これはおかしな理屈である」とありますが、その理由として最も適切なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア ウシやブタは人間が食べるために飼育している家畜だから。
イ クジラは野生動物なので殺すのは自然保護に反するから。
ウ 牧場は自然の生態系を改変して作ったものだから。
エ たくさんの野生動物たちが間接的に大殺りくされるから。
オ 人間はクジラを飼うために牧場を作るわけにいかないから。

問四 線部③「いっぺんにある種のクジラの個体群の半分も捕ってしまうのは確かに問題だ」とありますが、筆者はこの行為をどうして「問題」だと考えているのですか。それを説明した次の文の□に、適切な言葉を文中から抜き出して答えなさい。

いっぺんにある種のクジラの個体群の半分も捕ってしまうのは、
□をこえてしまうから。

問五 線部④「牧場を作る方が罪が重い」とありますが、その理由を四十五字以内で説明しなさい。

三 次の 線部①～⑩の漢字の読みを、ひらがなで答えなさい。

- ① 空のかばんを持つ。 ② 険しい表情。
③ 元気の源は何ですか。 ④ 筋を通す。
⑤ 不要なものは省く。 ⑥ 末永くお幸せに。
⑦ 店を営む。 ⑧ 快く仕事を引き受ける。
⑨ 君の意見を採ろう。 ⑩ 要望を退ける。

四 次の 線部①～⑮のカタカナを漢字に直して書きなさい。送り仮名が含まれている場合は送り仮名も正しく書きなさい。

- ① 難民をキュウサイする。 ② チームのカナメとなる。
③ ゼンゴサクを考える。 ④ 努力がミノル。
⑤ 商品をセンデンする。 ⑥ イチガンとなつて戦う。
⑦ オンダンな気候。 ⑧ 門をカマエル。
⑨ 計画をシユクショウする。 ⑩ 決勝でヤブレル。
⑪ 畑をタガヤス。 ⑫ 合格をイワウ。
⑬ ごみをヒロウ。 ⑭ 草原にヒソム動物。
⑮ 別れをツゲル。

五 次の①～⑤の言葉の使い方として適切なものには○、不適切なものには×と答えなさい。

- ① 口を切る … 自分が先に口を切る。
② 頭がかたい … 彼は頭がかたいので成績優秀だ。
③ 一目置く … あの男はあやしい行動をとっているので一目置いている。
④ 鼻息が荒い … 試合に向けて鼻息が荒くなる。
⑤ 耳が痛い … 何度も同じ音楽が流れているので耳が痛い。

六 次の各文の□に入る語としてより適切な方の語を選び、記号で答えなさい。

- ① 客の数が□。 ア 多い イ 大きい
② 気温を□。 ア 数える イ はかる
③ 君のハンカチより私のハンカチの方が□。 ア 広い イ 大きい
④ 家を建て直したら庭が□なってしまった。 ア せまく イ 小さく
⑤ 料理に使う肉は二百グラムで十分だ。三百グラムは□すぎる。 ア 重 イ 多

七 次の①～⑤の四字熟語の□に入る漢字をそれぞれ答えなさい。

- ① 一□一□ … 一つ一つの言葉。
② 一□一□ … いい面も悪い面もあること。
③ 一□一□ … 状態や情勢が良くなったり悪くなったりすること。
④ 一□一□ … 一夜の宿と一回の食事を与えられること。
⑤ 一□一□ … 一生に一度だけであること。

受験番号

氏名

[illegible]